

事業所名

あるくと+

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		関わる全ての人々の自律と成長をサポートする												
支援方針		自律思考と感性を育くむ体験参加型の支援					送迎実施の有無					あり	なし	
営業時間（平日）		9 時	30 分	18 時	0 分	営業時間（平日）		9 時	30 分	18 時	0 分			
（学校休業日）		9 時	30 分	17 時	0 分	R7.4 ～	（学校休業日）		9 時	30 分	18 時	0 分		
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	<p>（共通）定期的な心身の把握として、毎日、受け入れ時に、検温を行い、口頭にて体調の確認を行います。活動内容を部屋毎に分けています。</p> <p>（児発）日々のスケジュールは、チェックシートを活用して、活動の節目でご褒美シールを貼りながら、進めていきます。</p> <p>（放デイ）平日・学校休日毎にスケジュールボードを作成し、口頭指示だけでなく、見える化することで、見通しを立てて、自ら行動できるようにしています。学校休業日は、ランチタイムや料理を通して、「食材がどう変化して美味しい料理になるのか」等、楽しみながら食事の大切さを学んでいきます。</p>												
	運動・感覚	<p>（共通）ラジオ体操を、毎日実施</p> <p>（児発）粗大運動として、ボルダリングやスイング、マット運動などの遊びを通して、体を大きく動かす楽しさを体験していく。</p> <p>微細運動として、折り紙やシール貼り、工作、ブロック等を通して、色んな素材に触れて感覚を刺激し、そして、作り上げる喜びを体験していく。</p> <p>（放デイ）運動：ボルダリングや球技（ドッチボール・サッカー・野球・卓球）、マット運動を通して、楽しくチーム（集団）になって遊ぶ体験をしつつ、運動能力、技術力を上げていく。その中でゲームのルールやチームプレイを学んでいきます。スポーツコミュニケーションの学習も目的の一つです。</p> <p>感覚：制作活動で、様々な素材に触れ、自ら発想し、組み立て、カタチを変えて、新たなモノを作り上げていく体験からアート思考を育てていきます（工作、クッキング等）</p>												
	認知・行動	<p>（児発）少人数での友達との関わりの中で、ゲームなどでのやり取りを通して、「どうしたらいいのか」考える機会を作り、次の行動をどうするか、先生からの指示でなく自ら考えて判断し実行できる力を育てていきます。</p> <p>（放デイ）（下級生）小学校とは違う、「あるくとがらす」での過ごし方を理解し、指示されるのではなく、自ら次の行動に移せるように、常に、「なぜそれをするのか？」を思考する習慣を身に付けていきます。</p> <p>（放デイ）（上級生）主に「認知行動療法」を軸にして、自らの行動の振り返りを行っています。あるくとがらす内で起こるトラブル（他児とのケンカ等）で、何が起きたのか？なぜ起きたのか？どうすれば良かったのか？等、対話を行いながら、思考を深めていきます。この思考を習慣にして、色んな場面で落ち着いて対応出来る思考とメンタルを形成していきます。</p>												
	言語 コミュニケーション	<p>（児発）お友達との会話。先生との会話。適時に適切な言葉を使う練習をしていく。主に、挨拶・ありがとう・ごめんなさいを伝える事を基本としています。</p> <p>（放デイ）（下級生）小学生になると、様々な言葉を習得していく過程で、その言葉の良し悪しが判断できるよう、言葉と伝え方の練習をしていきます。毎日、異なるメンバーでの小集団サークルにて、対話学習を行っています（通称：あるくとサークル）司会進行も子どもたちが行い、大人はサポーターで、あくまでも主体性を子どもたちに持たせ、他者の話を聞き、自分の考えや思いを他者に伝える訓練を行います。また、何かトラブルが起きた時には、「振り返り」という名の話し合いをします。当事者だけでなく、オブザーバーとして希望する子どもも参加します。話し合う中で自分のこと、そして相手のことを考える習慣を身に付けていきます。</p> <p>（放デイ）（上級生）「振り返り」の内容もより詳しいものとなり、認知行動療法ではあるが、特に、「これからどうしていくのか？」という未来思考に焦点を当て、困りごとを自ら解決していく経験を重ねていき、問題解決力を身に付けていきます。</p>												

	人間関係 社会性	<p>(児発) ゲームや簡単な感覚遊びを通して、順番を守る、静かに待つ、「ありがとう」「ごめんね」などお礼・お詫びの言葉を使う練習をしていきます。社会性を身に付ける第一歩は正しい言葉の習得。基本の徹底を遊びを通して繰り返し行っていきます。</p> <p>(放デイ)(下級生) 人間関係社会性の基本は、「挨拶・お礼・お詫び」である。これを特に習得していけるよう、日々実践しています。これはコミュニケーションの準備とも言えるもの。この準備の三原則を学び、その場面での適切なコミュニケーションは子ども達の遊びの中で学んでいきます。「振り返り」や「成長会議」(主に子ども達一人一人にスポットを当てて、自分の目標、そして今何をしていくのか？を先生と一緒に考え、解を見つけていく会議)などを通して、コミュニケーション能力と共に、社会性を身に付けていきます。</p> <p>(放デイ)(上級生) 上級生は下級生での学びに加えて、リーダーシップを習得していきます。あるくとがらすは子ども達の人数が多いため、グループでの学びも多い。「そのグループをいかにまとめ、目的に応じた行動をしていけるか？」上級生が下級生と共に考え、時には下級生にやり方を教えていきます。この双方の学びが人間関係と社会性を身に付けさせていきます。</p>
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時での対面や、電話、公式LINEでのチャット等を通して、日々、情報を共有したり相談を受けている。</li> <li>・必要な場合、いつでも個別相談や関係機関を含めた場を設けています。</li> <li>(困り事・悩み事を溜めないことが必要であり、今の困り事だけでなく、5年10年スパンの長期的な話しもしていく)</li> <li>・例年、保護者様(小学4年生)参加での1/2成人式(十歳の祝い)を実施し、共に成長を祝っています。</li> <li>・不定期だが、お父さんの悩みを共有する「パパがらす(お父さんの会)」を開催している。</li> </ul>
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共施設や店舗等を利用し、積極的に地域資源を活用しています。</li> <li>・地域で活動している個人や団体の方々を招いて、講話・音楽・ヨガ・英語、など様々な活動の機会を設けています。地域行事にも、できる限り参加しています。</li> <li>・学校や他の福祉サービス等と随時情報共有を行っています。</li> <li>・交通安全教室や防災・避難訓練などを通して警察署・消防署などの地域の公的機関の方々子ども達の交流の機会を作っています。交流後は、お礼状を書いて、お礼に伺っています。</li> </ul>
	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日(朝礼、昼礼、終礼)随時振り返りを行い、子ども達への対応・仕事力、語彙力、コミュニケーション力の向上に努めている。朝礼と昼礼では現在の子どもの対応を吟味し、夕方のスタッフ振り返りで、本日の対応をスタッフ全員で共有し学習しています。</li> <li>・月1回、勉強会を実施。社会心理学・教育心理学や認知行動療法を学んでいます。</li> <li>・日々成長する子ども達に対応する為に、知識向上とメンタル面の強化に努めています。</li> <li>・外部研修にも積極的に参加しています。(ティチャーズトレーニング、強度行動障害研修、虐待防止研修など)</li> </ul>
	移行支援	<p>学校や医療・福祉施設などの関連機関と連携をはかり、情報交換や担当者会議を行い、支援体制を構築しています。</p>
	主な行事等	<p>時節行事と体験イベントを実施しています</p> <p>時節行事) 餅つき・初詣・1/2成人式・節分・ぼんぼり祭り・卒業式・入学式・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・年末の大掃除など。</p> <p>体験イベント) クッキング・工作・ドッグセラピー・英語学習・市内外での公園ワークショップ・蝉取り・スイカ割り・駄菓子屋ツアー・草スキー体験・サイクリングパークでの自転車体験、映画セラピーなど</p>